

## 農業ジャーナリスト賞募集要項

### ● 応募対象

- ◇ 農林水産業、食料問題ならびに農山漁村の地域問題などに関する報道
  - ・連載企画／ルポルタージュ／ニュース記事／出版物／放送番組 等
- ◇ 2024年1月1日～12月31日までに国内で発表された作品

### ● 推薦方法

- ◇ 別紙推薦書に必要事項を記入の上、資料を添えて事務局へ郵送してください
  - ・必要資料 作品10部（コピー可）
    - \*作品が放送の場合は、作品DVDと台本を各10部
- ◇ 送付先
  - ・〒100-6826 東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル26階
  - 農政ジャーナリストの会「農業ジャーナリスト賞」係

### ● 応募締切

- ◇ 2025年2月21日（金）消印有効

### ● 審査

- ◇ 審査のポイント
  - ・社会性／独自性／影響力／訴求力 等

### ● 表彰

- ◇ 受賞作品は、農政ジャーナリストの会総会において表彰され、機関誌『日本農業の動き』およびホームページにおいて一般に紹介されます。

## 第40回農業ジャーナリスト賞候補作品推薦書

作 品 名		
筆 者 ま た は 代 表 者	氏 名	
	現職・略歴	
推 薦 の 理 由		
推 薦 者	氏 名	
	所属団体名	
	役 職 名	
担 当 者 連 絡 先	氏 名	
	E - M a i l	

# 農業ジャーナリスト賞規定

## 第1条（名称）

本賞は、農業ジャーナリスト賞と称する。

## 第2条（目的）

本賞は、農林水産業、食料問題ならびに農山漁村の地域や環境に関する優れた報道（レポート、連載企画、出版物、放送番組等）を通じてジャーナリストとして顕著な業績をあげたものを表彰する。

## 第3条（授賞作品）

本賞の授賞作品は、毎年1月から12月までに国内で発表されたものとする。

## 第4条（選考）

農政ジャーナリストの会が委嘱した選考委員会で推薦された作品の中から、農政ジャーナリストの会役員会で決定する。

## 第5条（表彰）

本賞は、賞状ならびに副賞とする。表彰は毎年農政ジャーナリストの会の定期総会で行う。

## 第6条（受賞作品の公表）

本賞の受賞作品は、農政ジャーナリストの会機関誌「日本農業の動き」に紹介する。

## 選考委員（順不同）

小田切 徳美 明治大学農学部教授

榊田 みどり 明治大学農学部客員教授（農業ジャーナリスト）

三森 かおり （有）ぶどうばたけ取締役

大村 美香 朝日新聞記者

阿部 道彦 （一社）農山漁村文化協会役員

鎌仲 ひとみ （株）ぶんぶんフィルムズ代表、映像作家

日向 志郎 農政ジャーナリストの会会長

（2024年12月現在）

## 農政ジャーナリストの会について

農政ジャーナリストの会は1956年（昭和31年）、農業、農政に関心を持つ一般紙、専門紙誌、通信社、放送局、雑誌の記者、編集者、フリーライター、研究者などで結成した自主組織です。会員は全国で約250人（個人・賛助会員）。4半期ごとにテーマを決めて研究会を開催するほか、講演会、討論会、シンポジウム、国内・海外で共同取材等を随時開催し、これらの成果を機関誌『日本農業の動き』に掲載し、年4回出版しております。同誌は1965年（昭和40年）の創刊以来、2018年（平成30年）11月発行で「200号」に達しました。また、国際農業ジャーナリスト連盟（IFAJ）にも加盟し、2007年（平成19年）9月には、IFAJの国際大会をアジアで初めて日本（東京、宮城、岩手、山形）で開催しました。

○ 歴代会長 （\*は当時）

初代 団野 信夫（朝日新聞\*）

2代 遠藤 太郎（読売新聞\*）

3代 山地 進（日本経済新聞\*）

4代 古野 雅美（共同通信\*）

5代 黒川 宣之（朝日新聞\*）

6代 中村 靖彦（NHK\*）

7代 岸 康彦（日本経済新聞\*）

8代 中村 靖彦（NHK\*）

9代 須田 勇治（日本農業新聞\*）

10代 野村 一正（時事通信\*）

11代 合瀬 宏毅（NHK\*）

12代 石井 勇人（共同通信）

13代 行友 弥（元毎日新聞）

14代 日向 志郎（元日本農業新聞）

2024年12月